

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島県庁			代表者名	湯崎英彦
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	土木建築局 建設DX担当	連絡先電話番号	082-513-3861
担当者役職	主任	担当者氏名	岡本建人	連絡先E-mail	
住所	730-8511 広島県広島市中区基町10-52				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	データ利活用事業
概要	広島県における地域課題（まちづくり・防災・交通・中山間地域・空き家）をテーマにプログラミング経験の少ない方でも気軽に課題解決に有効なアプリケーションの開発などデジタル人材の育成を目的に技術支援するハッカソン（DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2025 in 広島）を開催する。このハッカソンにおけるデジタル人材育成のための技術支援などをいただきたい		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） オープンデータ 防災		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月14日	支援・助言(実地)	9時00分	18時00分	60
				活動時間（分）	480
2-2. 派遣場所	会場名	広島大学東千田キャンパス		最寄駅	JR広島駅
	所在地	広島市中区東千田町一丁目1番89号		最寄駅からの交通手段	路面電車orバス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	喜多 耕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者一人一人に丁寧かつ熱心にご指導いただき、参加者からの評価も高かった。デジタル技術（GISやプログラミングなどのツール）について、初心者の方にも、相手に寄り添った内容及び操作時間でご指導いただき、参加者のさらなるモチベーションの向上も図られた。また、高校生なども参加していたことから緊張されている方のフォローをいただくなど、支援内容以外の面でもご活躍いただき、大変ありがたかったです。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	45人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	5	5	15
				20

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	デジタル技術（GISやプログラミングなど）を活用して、地域の課題解決を図る取組を実施するためには、県職員の知識だけでは、操作方法など限界があり、プロの方達にご支援いただかないと、アイデアの創出だけで、終わってしまうため、さらにもう一歩踏み込んだ取組として、アプリケーションの開発など実証さらには、実装に進むための取組がしたいことから、地域情報化アドバイザー制度を活用した。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	デジタル技術（GISやプログラミングなど）を活用して、地域課題解決に向けたアプリケーションやデータの開発

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル技術（GISやプログラミングなど）を活用して、地域の課題（中山間地域・空き家・交通・まちづくり・防災減災）解決に努めるため、参加者へのサポート（デジタル技術を使ったことがない、操作方法がわからないなど）	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者のデジタル技術へのスキルアップが図られた。また、今後もデジタル技術を活用して、いろいろな課題解決に取り組むモチベーションの向上が図られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	中山間地域の魅力であるグルメや伝統文化などを発信し、新たな観光事業を盛り上げるための情報発信アプリなどが開発された。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	イベント終了後も、取り組みを継続的に行えるような伴走支援などを行う予定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 イベントの満足度については、回答いただいた方（24名）の約5割が「非常に満足」、残りの方は「満足」と回答いただいた。また、来年度以降も同じようなイベントに参加したいかについては、全ての方が、「参加したい」と回答いただいた。そのほか、自由欄では、「講師の方が、すごく丁寧に教えてくれて、勉強になった」や「講師の方にサポートいただいて、自分でもいろいろ作業できるんだ。地域課題解決の取り組みを引き続きやっていきたい」などコメントをいただいた。結果から、参加者はイベントがあれば、参加したいという意見が多くあり、来年度以降も、同様のイベントを開催し、さらにパワーアップした取り組みになるように検討していく。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	地域課題解決を目的として、アプリケーションやデータ、アクティビティ、アイデアなどを募集するコンテスト（DoboXデータチャレンジ2025）を開催する予定	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	地域が持っているお困りごと（課題）に対して、デジタル技術を活用して、少しでも豊かに生活できるような取組になるよう取組を進める。また、デジタル技術を活用できる県民が増えるようにデジタル人材の育成にも、取り組んでいく。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。		

